# 教科書輪講

第5章

2017/5/22 秋山研 M1 林 孝紀

## 目次

- 1. 概要
- 2. 線形探索
- 3. 二分探索
- 4. ハッシュ
- 5. 最適解の計算

### 概要

1. 線形探索:

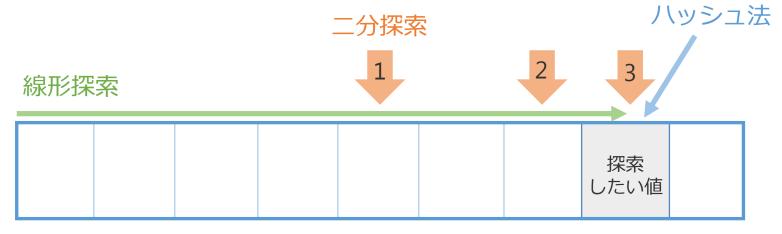
左から順番に探索していく方法:O(n)

2. 二分探索:

ソートされた配列に対して、半分ずつ探索:  $O(\log n)$  なお、ソートは平均  $O(n \log n)$ 

n回探索を行う場合, 線形探索は0(n²)だが 二分探索は0(nlogn)

3. ハッシュ法: キーとデータを1対1で対応させて格納: 0(1)



### 線形探索

- 前から順に探索を行う
- 番兵を設置することにより、比較回数が1ループあたり2回から1回に削減できる

### 長さlengthの配列aに対してkeyを線形探索するコード

#### 1. 素朴な実装

```
int serch_liner(const int* a,
  const int length, const int key){
  int i;
  for(i = 0; i < length; i++){
    if(a[i] == key) return 1;
  }
  return 0;
}</pre>
```

#### 2. 番兵を用いた実装

```
int search(int* a, const int length, const int key){
    //番兵の配置は引数に破壊的操作を行う
    int i = 0;
    a[length] = key; //番兵の設置
    while(a[i]!= key) i++;
    return (i!= length);
}
```

### 二分探索

### 例題:

n 個の整数を含む数列 Sと、q 個の異なる整数を含む数列 T を読み込み、T に含まれる整数の中で S に含まれるものの個数 C を出力するプログラムを作成してください。

入力 1行目にn、2行目にSを表すn個の整数、3行目にq、4行目にTを表すg個の整数が与えられます。

出力 Cを1行に出力してください。

制約 5の要素は昇順に整列されている

 $n \le 100,000$ 

 $q \le 50,000$ 

0≤5の要素≤109

0 ≤ T の要素 ≤ 10°

7の要素は互いに異なる

#### 入力例

#### 出力例

3

### 二分探索

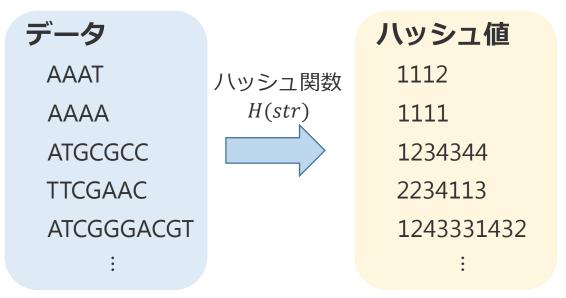
```
int binary_search(const int* a,
const int length, const int key){
 int left = 0:
 int right = length - 1;
 int mid;
 while(right >= left){
  mid = (left + right) / 2;
  if(a[mid] == key) return 1;
  if(key > a[mid]){
   left = mid + 1;
  }else{
   right = mid - 1;
                    再帰のbase
 return 0;
```

閉区間を使用した探索 できる人はここを半開区間にしてみてください

#### 再帰を使った探索

## ハッシュの実装

#### ハッシュの考え方:



ハッシュテーブルのサイズをmとして $0 \le H(str) < m$ 

そのため、ハッシュ関数H(str)の設計次第では、ハッシュ値が衝突してしまうことも…

## 衝突を考慮したハッシュ関数

#### kを整数とした場合のハッシュ関数の設計:

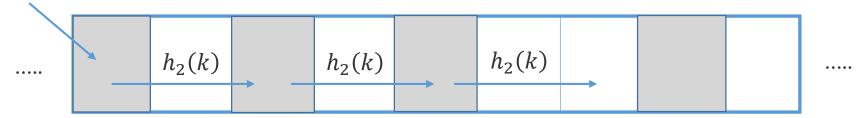
$$H(k) = h(k,i) = (h_1(k) + i * h_2(k)) \mod m$$
 where:   
  $i:$  八ッシュが衝突した回数  $m:$  八ッシュテーブルのサイズ  $h_1(k) = k \mod m$ 

 $h_2(k) = 1 + (k \mod (m-1))$ 

これを用いてh(k,i)としたキーが 衝突した場合はh(k,i+1) を 計算すれば良い

ここで $h_2(k)$  と m は互いに素  $(m: 素数, 0 \le h_2(k) < m)$ 

 $h_1(k)$ 



前のスライドのように文字列をキーとするためには, 文字列から整数を作成する関数が別途必要

F(str) = H(f(str)) とするような f(str) を考えてみよう!

## ハッシュ

#### 課題1:

以下の命令を実行する簡易的な「辞書」を実装してください。

- ▶ insert str. 辞書に文字列 str を追加する。
- ▶ find str: その時点で辞書に str が含まれる場合'yes' と、含まれない場合'no' と出力する。
- 入力 最初の行に命令の数n が与えられます。続くn 行にn 件の命令が順番に与えられます。命令の形式は上記のとおりです。
- 出力 各find 命令について、yes またはno を1行に出力してください。
- 制約 与えられる文字列は、'A', 'C', 'G', 'T' の4種類の文字から構成される。  $1 \le$ 文字列の長さ $\le 12$

 $n \le 1,000,000$ 

#### 入力例

6
insert AAA
insert AAC
find AAA
find CCC
insert CCC
find CCC

#### 出力例

yes no yes

\*回答はC言語を使用

### ハッシュの実装

#### (趣味もかねて) プレーンなC言語で実装してみた

### ハッシュの定義

```
typedef char* string;

typedef struct {
   string dict[HASH_SIZE];
} hash_map;
```

A, T, G, Cに1, 2, 3, 4 を対応させて5進数表記

### ハッシュの初期化

```
#define INIT ""

for(i = 0; i < HASH_SIZE; i++){
   map.dict[i] = (string)
        malloc(sizeof(char) * MAX_LEN);
   strcpy(map.dict[i], INIT);
}</pre>
```

```
long get_key(const string target){
 int i;
 long result = 0;
 int length = (int)strlen(target);
 if(length > MAX_LEN) return -1;
 for(i = 0; i < length; i++){
  char c = target[i];
  result = result << 3;
  if(c == 'A'){
   result += 1;
  else if(c == 'C'){
   result += 2;
  else if(c == 'G'){
   result += 3;
  else if(c == 'T'){
   result += 4;
          文字列 -> 整数の変換
 return result; }
```

### ハッシュの実装

```
int insert(const string target, hash_map* map){
 long key = get_key(target);
 if(key == -1) return 0;
 int point, i = 0;
                  キーの計算,関数化すべき
 while(1){
  point = ((h1(key) + i * h2(key))) % HASH_SIZE;
  string tmp = map -> dict[point];
  //already exist
  if(!strcmp(tmp, target)) return 0;
  if(!strcmp(tmp, INIT)){
   //insert target
   strcpy((map -> dict[point]), target);
   return 1;
  //hash map is full
  if((++i) > HASH_SIZE) return 0;
```

pointに文字が格納されていて targetではない場合次のループ

### 応用問題

#### 課題2:

重さがそれぞれ $w_i(i=0,1,...n-1)$  のn個の荷物が、ベルトコンベアから順番に流れてきます。これらの荷物をk台のトラックに積みます。各トラックには連続する0 個以上の荷物を積むことができますが、それらの重さの和がトラックの最大積載量P を超えてはなりません。最大積載量P はすべてのトラックで共通です。

n、k、w; が与えられるので、すべての荷物を積むために必要な最大積載量Pの最小値を求めるプログラムを作成してください。

**入力** 最初の行に整数nと整数kが空白区切りで与えられます。続くn行にn個の整数 $w_i$ がそれぞれ1行に与えられます。

出力 Pの最小値を1行に出力してください。

制約  $1 \le n \le 100,000$  $1 \le k \le 100,000$ 

 $1 \leq w_i \leq 10,000$ 

\*回答はC++を利用

入力例	出力例	
5 3	10	
8		
1		
7		
3		
9		

1 台目のトラックに2つの荷物 {8, 1}, 2台目のトラックに2つの荷物 {7, 3}、3台目のトラックに1つの荷物 {9}を積んで、最大積載量の最小値が10となります。

## 二分探索の応用

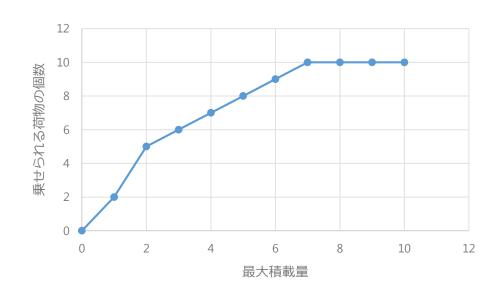
載せることができる荷物の個数と 最大積載量を考えるとこれは<mark>単調増加</mark>



### 二分探索を利用できる

最大積載量から荷物の個数を計算

```
int check(ll p){
  image int i = 0;
  image int i = 0;
  for (int j = 0; j < track_num; j++){
    ll s = 0;
  while(s + weight[i] <= p){
    s += weight[i++];
    if(i == weight_num) return weight_num;
  }
  return i;
}
```



トラックに入れられるだけ入れる

## 二分探索の応用

```
int solve(){
    Il left = 0;
    Il right = (II) MAX * (II) MAX;
    Il mid;
    while(right - left > 1){
        mid = (right + left) / 2;
        int v = check(mid);
        if(v >= weight_num) right = mid;
        else left = mid;
    }
    return right;
}
```

```
(right = left+1)まで二分探索
```

今回はweight\_num以下の数は 返ってこないことに注意

#### 二分探索:

- 1. 条件を満たす最小の要素の探索
- 2. 条件を満たす最大の要素の探索
- 3. 条件を満たす要素があるかないかの探索

解の区間設定はここに詳しく書いてある http://topcoder.g.hatena.ne.jp/agw/20151215